



社協だより

第107号 ふれあい

令和2年10月1日

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

10月1日より赤い羽根共同募金がスタートします。

赤い羽根共同募金は、高齢者福祉だけでなく、世代間交流やボランティア活動など、様々な分野に活用されます。

羽後町内で活用される募金ですので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



私たちは社協活動を応援しています
羽後町社会福祉協議会の活動趣旨に賛同いただいている企業・法人等の皆様をご紹介します。

株式会社 **佐藤建設**
安心して暮らせる安全なまちづくりを目指します。
地域未来の新たな創造
《業務内容》
土木・建築・舗装・解体
上下水道・収集運搬
羽後町大久保字柏原 96-9
TEL 0183-62-0131

心ゆたかな地域環境づくり
株式会社 **柴田組**
代表取締役社長 柴田 晋
本社
〒012-1126 雄勝郡羽後町杉宮字東腰廻 63
TEL 0183(62)2124(代) FAX 0183(62)3317
湯沢営業所
〒012-0051 湯沢市深堀字鎌切 17-3
TEL 0183(73)2020 FAX 0183(73)2021

処方箋
受け付けております♪
きむら薬局
012-1131
羽後町西馬音内字本町30-2
☎ 0183-62-1237

有限会社
三浦運送
012-1131
羽後町西馬音内字中野153-5
TEL 0183-62-0670
FAX 0183-62-5077



さわやか福祉財団による フォーラムを開催

令和元年十二月二十二日(日)、羽後町における地域の助け合い活動を広めるため、全国で助け合い体制の構築を推進している公益財団法人さわやか福祉財団の堀田力会長を迎えたフォーラムが開催されました。

堀田氏の講演では「いま、どうして助け合いが必要なのか」について、地域の現状と助け合い活動の効果をわかりやすくお話をしていただき、町内外で実際に活動を

行っている団体の代表者との意見交換が行われました。

会場に集まった町民の皆さんからは、「居場所づくり」「ボランティア活動」といった項目に多くの手が挙がり、眠っている地域の可能性が示された結果となりました。

◇フォーラムから勉強会へ◇
こうした「助けがほしい」「少しの手伝いならやってあげたい」という気持ちを具体的な行動につなげる仕組みを創り上げるため、助け合い活動の旗振り役である生活支援コーディネーターと一緒に活動を広める組織である「協議体」のメンバーを選出することを目的とした勉強会を開催しました。

第一回目は令和二年一月十一日(土)。その後予定していた勉強会は新型コロナウイルスの感染拡大によって延期になってしまいましたが、今年度に入ってから七月二十六日(日)、八月二十九日(土)と、感染対策をとりながら勉強を重ねてきまし

主役は地域のみなさん

助け合いの地域づくりフォーラムから勉強会まで

た。参加者からは、気軽に困りごとが話し合える地域、世代を超えた交流ができる地域など、こうすれば地域がよくなるという、楽しい未来を想像できるような意見が多く出されました。

今後は、具体的に活動を広めるための仲間集めを始めていきます。そして、できることをみんなで考えて、地域に住む皆さんが主体となった活動を始めていきたいと思います。時間はかかっても、これからの地域にはこうした活動がきつと欠かせないはず。どういった形があるのか、自分たちの地域でも話し合ってみてほしいといった場合はお問い合わせください。主役は地域の皆さんです。ちよつとした謝礼を出すボランティアなど、これまでにない仕組みにも挑戦し、生きがいに満ちた羽後町を共に創っていきましょう。

株式会社
みわ観光タクシー

012-1121
羽後町大久保字家妻82-1
TEL 0183-56-7017
FAX 0183-56-7018

株式会社
小坂ハウス工業

012-1100
羽後町字稲荷20-2
TEL 0183-62-5544
FAX 0183-62-5072

事務機器・OA機器・事務用品
測量機器・スポーツ用品
各種ギフト用品

フジヒロ商店

湯沢市北荒町5番20号
TEL: 0183-73-1110
FAX: 0183-73-1866

株式会社
羽後自動車学校

高齢者の事故防止のため
安全な町づくりに
「ハッピー運転教室」開催中、
ぜひご利用ください。

羽後町杉宮字柏原10-2
TEL 0183-62-5111
FAX 0183-62-5110



長寿社会と

これからの

地域について

人生百年時代、

長い人生をあなたは

どう生きていきますか。

となり近所で助け合うことが当たり前だった時代から、だんだんとモノがあふれ、便利な世の中になるにつれて「自分のことは自分で」という社会に変わってきました。その間、地域や家族のあり方も変化してきて、現在、地域の課題は高齢者だけでなく、子育てや障がいをお持ちの方に関すること、経済的なもの、またはこれらが合わさった場合など、複雑になってきています。

こうした課題は、それぞれの世

帯だけで解決すべきことでしょうか。

少子高齢化、核家族化など、社会も変わってきている現状では、

全てを人に頼らず、自分のことは自力でなんとかすべきという考えは、「行き過ぎた自己責任」ともなりかねず、公的なサービスのすき間を埋める「ちょっとした助け合い」が必要な方が増えてきています。今は不要と思えることも、五年後、十年後のお住まいの地域は…。災害が起きた時に最初に助けしてくれるのは…。全ての世代の方が少しの想像力をもって考えてみるのが大事になってきます。

はじめの質問に戻りますが、人生百年時代を、いきいきと過ごすために必要なことは「生きがい」や「他者との絆」ではないでしょうか。実際、ある研究では「地域で役割のある方、たくさんの人と関わっている方は、健康で長生きする」という結果が出ています。反対に、孤立することが、心身に悪影響を及ぼすこともわかっており、これらの研究によっても、人

と関わり合うことの大切さが証明されています。

日本全国の興味深い事例も社会福祉協議会にはいくつもあります。自分たちの地域のために、自分たちで考えるお手伝いをさせていただきますので、地域のことを我が事として一歩を踏み出してみませんか。



株式会社 小野建設

**ふるさとの
幸せ創造業**

お困りごとご相談ください
土木・建築・解体の総合建設会社
羽後町新町字最上山7-1
☎ 0183-62-0127

社会福祉法人 羽後町福祉会

**障害者支援施設
ひばり野園**

羽後町足田字七窪 27-1
TEL 0183-62-2345
FAX 0183-62-3113
<http://hibarino.whitesnow.jp/>

社会福祉法人 五輪坂秋峰会
～五輪坂ひなげしの里～

障がい福祉サービス事業をとおし、人と人の繋がりを大切にし、充実した暮らしと環境づくりを目指します。

羽後町足田字古堤上 21 番地 2
理事長 馬越 秋瀬
<http://www.gorinzaka.jp>

JA うご

うご農業協同組合

012-1115
羽後町足田字泉田45-1
TEL 0183-62-1120
FAX 0183-62-5550

この福祉だよりは、共同募金の配分金で発行されています。

お知らせ

令和2年度 羽後町社会福祉大会について

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、羽後町社会福祉大会の開催を中止させていただくこととなりました。

ご来場をご検討くださっていた皆様には、ご迷惑をおかけすることとなり大変申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくをお願いいたします。



まちづくり愛

地域での出会いの場を提供し、羽後町の良さを知ってもらう事、良き伴侶を得ていただくことを目的に婚活事業を実施しています。お気軽にお声掛けください。連絡先は共催の羽後町社会福祉協議会まで。

TEL 0183-62-5313

- 9月 新成 齋藤 伸一様
夢屋 羽後店 食品様
- 8月 (株)マインド 代表取締役 阿部 三男様
テイツシユ
- 7月 明治 小松 三千雄様
スイカ

物 品

- 9月 羽後町保育研究会様

寄 金

心あたらないご寄付
ありがとうございました

三協自動車 整備工場

012-1115
羽後町足田字向小山69-6
TEL 0183-62-0606
FAX 0183-62-3062

お陰さまで 羽後企画印刷

商業印刷・看板・シール
〒012-1121
羽後町大久保字柏原 74-53
TEL 0183-62-2787
FAX 0183-62-2868

民間車検 自動車の安全に 奉仕する。

有限会社
佐々木自動車整備工場
羽後町西馬音内掘廻字塩出山 1-15
TEL 0183-62-5106

株式会社 六鎗工務店

012-1137
羽後町西馬音内掘廻字下湯ノ崎13
TEL 0183-62-4605

新型コロナウイルスの状況下、コロナうつのことを聞くようになりました。観光・宿泊業や飲食業への打撃に伴い、農業や製造業などあらゆる分野に影響が出ています。先の見えない不安が、心を押しつぶすのでしよう。大学生たちもそうです。受験勉強を頑張つて努力して、希望が叶い、キャンパスライフが始まるはずでした。ところが、全国や海外から学生が集まると、感染リスクが拡大するからと、オンライン授業へ。一度も学び舎へ通うことなく、サークル活動もなく、友達もできないまま、家で授業を受ける孤独な日々が続いています。秋田大学の学生を対象にした調査では、一割が強いうつ症状との結果を伝えていきます。大変な時代。「新しい日常」はどうやって定着するのでしょうか。「困った時はお互いさま」の精神で、誰もが前向きに暮らせるよう知恵を出し合ひましょう。



(マリコ)